

周辺の防災確認

- 石油タンクやガスボンベは倒れないように補強し、周囲に物を置かない。
- ベランダの手すりには鉢植えなど、落下する危険のあるものを置かない。
- 家にブロック塀がある場合は、安全性を確認しておく。
- 町内会や近隣所で、協力体制について話し合っておく。

避難場所の確認

- 事前に避難場所を確認しておき、道順を実際に歩いて確かめておく。
- 家族が離ればなれになった場合の連絡方法や集合場所を決めておく。

災害時の連絡方法について確認しよう！

災害によって電話が通じなくなったときのために、前もって家族等との連絡方法について確認しておきましょう。



災害用伝言ダイヤル 171

被災地に電話が集中してつながりにくい状況になった場合、安否などの情報を音声で登録・確認できるサービスを覚えておきましょう。

加入電話（プッシュ回線・ダイヤル回線）、ISDN、携帯電話、PHS、公衆電話、避難所に設置される特設公衆電話（※無料）から利用できます。

【伝言を録音するとき】

※伝言は1件30秒以内
※1つの電話番号で10件まで伝言できる。

171 ▶ 1 ▶ 被災地の市外局番からはじまる【自分の電話番号】

【伝言を聞くとき】

171 ▶ 2 ▶ 被災地の市外局番からはじまる【安否情報等を確認したい相手の電話番号】

●災害用伝言ダイヤル「171」体験利用ができる日

- ・毎月1日と15日
- ・防災週間（8月30日～9月5日）
- ・防災とボランティア週間（1月15日～1月21日）

ぜひ一度、体験利用してみましょう。

P×モ

覚えておこう！ 消火器のつかい方

※ 火に近づきすぎないこと！

①安全ピンを抜く。

②ホースの先を火元に向ける。

③レバーを強くにぎって放射する。

防災チェックシート

わが家の防災確認をしよう！

災害時、被害を最小限に止めるためには、防災に対する普段からの心がけが大切です。わが家で防災確認をしてみましょう。

非常備蓄品の確認

- 飲料水（1人1日3リットルが目安）
 - 食品（缶詰・お菓子類・レトルト食品等、調理不要なもの）
 - 簡易ガスコンロ（予備のガスボンベ）
 - 固形燃料
 - 風呂の水の汲み置き
- ※災害から復旧するまでのために、3日以上を用意し、飲料水・食品は、定期的に点検、交換する。



家の中の防災確認

- テレビ・家具類には、横ずれ・転倒落下防止措置を行う。
- 観音開き戸には、中のものが飛び出さないよう止め金をつける。
- 窓ガラスや食器棚等のガラス戸には、飛散防止フィルムなどを貼る。
- 高い場所に物を置かない。
- 寝る場所には、できるだけ家具などは置かないようにする。（※出入り口近くに家具を置かない。）
- 避難に備えて、靴や厚手のスリッパを寝室に備えておく。
- 懐中電灯、携帯ラジオを用意しておく。（予備の電池も忘れずに！）
- 非常持出品を準備し、万一の場合にはすぐに持ち出せるようにしておく。
- 避難路を確保するため、出入り口や通路に物を置かない。
- 消火器を準備し、防災訓練には積極的に参加して、使い方にも慣れておく。
- 簡単な応急手当に関する知識・技術を身につけておく。

※P×モ

いざという時のために！備えておきたいこと ②

災害時に備え、皆さんの安心・安全な暮らしのために、防災に役立つ知識や情報を提供いたします。

社協の防災P2

